

1 生物のからだとはたらき

学習日 /

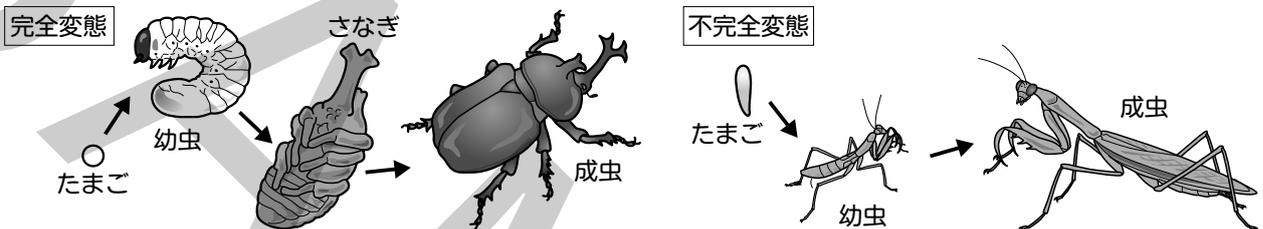
1 昆虫

●昆虫のからだのつくり

- ・からだに節があり，かたいからでおおわれている。
- ・2本(1対)の触角しゅっかくをもち，鼻や耳のようなはたらきをしている。
- ・からだは，頭・むね・腹の3つに分かれている。また，むねには6本(3対)のあしがついている。

●昆虫の育ち方

- ・昆虫は脱皮だっぴをしながら成長する。脱皮をしながらからだのつくりを変えることを，変態へんたいという。
- ・変態には，成虫になる前にさなぎの時期がある完全変態ぜんぜんへんたいと，さなぎの時期がない不完全変態ふくせんへんたいがある。



- ・変態のしかたは，昆虫の種類によって異なる。変態しない昆虫もいる。



完全変態	チョウ，ガ，カブトムシ，ハチ，ハエ，アリ，テントウムシ，カ，ノミ，アブなど
不完全変態	セミ，バッタ，カマキリ，トンボ，コオロギ，スズムシ，ゴキブリなど
変態しない	シミなど

- ・完全変態をする昆虫の多くは，幼虫と成虫とで食べ物が大きく異なる。そのため，からだのつくりも大きく変わる。

2 季節と生物

●サクラ(ソメイヨシノ)の1年間

春 	夏 	秋 	冬
花がさき，花が散り始めるころに，葉が出始める。	葉が枝をかくすくらい，よくしげり，実ができる。	葉が紅葉する。芽ができているのがわかる。	葉が落ちる。丸みのある花芽と細長い葉芽がある。

●へちまの1年間

春 	夏 	秋 	冬
子葉が開き，緑色の大きな葉(本葉)が出てくる。	くきがよくなるのび，葉の数も多くなる。花をさかせる。	花がしぼんで，実ができる。やがて葉やくきがかれる。	じゅくした実の中に種子を残し，次のいのちをつなぐ。